

平成二十八年年度

支部総会・大懇親会・新会員歓迎会

副支部長 福井伸一

五月十四日(土)の十五時三十分より、ホテル法華クラブ函館において、平成二十八年年度支部の総会を開催しました。

高橋伸夫支部長の挨拶に始まり、ご来賓としてご出席いただきました夕陽会会長橋田恭一様にご祝辞を頂戴し、

本部、各支部、母校の現況について、詳しく教えていただきました。その後、報告事項、協議事項と会が進み、すべての事項について承認されました。

役員改選では、木村孝新支部長(軍川小)を始め、十名の新役員が選出され、総会を終了しました。

総会を終え、次は、大懇親会・新会員歓迎会です。約百名の参加のもと、夕陽讃歌を高らかに歌い、会が始まりました。

新役員を紹介後、新木村支部長の主催者挨拶に続き、北海道



教育庁渡島教育局義務教育指導監横山佳彦様と渡島教育委員会教育長会会長與田敏樹様よりご祝辞を頂戴し、夕陽会会長橋田恭一様の祝杯のご発声後、祝宴に入りました。新採用の新会員、他支部からの転入会員による自己紹介、毎年、会場がドキドキ感と笑顔がいつぱいになる大抽選会、そして、佐藤裕太先生(福島小)と水谷健司先生(福島小)によるエール・寮歌大合唱と会が進み、特に、このエールでは楽しい演出もあり、大いに盛り上がりました。

終わりに、福島町教育委員会教育長盛川哲様のご発声による乾杯で会員の絆の強さを確認し、会を終えることができました。

ご多用中、ご出席くださいました皆様にご心より感謝申し上げます。

◎ 母校開学の精神を確かめ、夕陽会の原点である親睦の和を深めるとともに教育の振興に寄与する。

● 運営方針 ●

一、支部・支会の連携強化

- ・ 会員の同窓意識を盛り上げる。
- ・ 会員相互の助け合いを大切に。
- ・ 支部と支会、支会相互のつながりを密にする。
- ・ 情報活動を活性化させる。
- ・ 支会と連携しながら、同窓の輪を民間へと広げる。

二、会員の向上・援助

- ・ 会員相互の研修活動を促進する。
- ・ 人材の発掘と登用を積極的に進める。
- ・ 新会員(新採用者・渡島管内勤務初経験者)への援助・啓発に努める。
- ・ 退職会員への感謝と激励に努める。
- ・ 本部及び他支部との連携
- ・ 本部との連携を深めて、会の一層の充実・発展を図る。
- ・ 本部事業への積極的な協力を図る。(百周年に向けての準備に協力)
- ・ 他支部との密接な情報交換・連携を図る。
- ・ 本部からの支援を積極的に求める。

三、「夕陽渡島」の発行

- ・ 親しまれ読みやすい「夕陽渡島」の発行に努める。(年三回発行)

四、研修事業の活性化

- ・ 新会員激励会を開催し、教職への意欲づけを図る。
- ・ 会員研修の促進と研究実践者の積極的推進を図る。

五、退職会員との連携

- ・ 勇退者への「感謝と激励の会」を開催する。
- ・ 夕陽会渡島支部「終身会員」への勧誘を促進する。
- ・ 勇退会員の資料集「勇退者の横顔と足跡」を発行する。
- ・ 勇退会員へ記念品を贈る。
- ・ 本部事業への積極的協力と参加
- ・ 本部主催の行事への積極的参加と協力を行う。
- ・ 本部前納会員への加入のための支援を行う。
- ・ 百周年に向けての活動への協力を図る。

六、関係機関との連携・提供

- ・ 関係機関と連携を強化して、事業を推進する。

七、その他

- ・ 主幹教諭昇任者・教頭昇任者・校長採用者、受賞者等へ祝詞等を送付する。
- ・ 夕陽会新採用者が渡島管内学校に着任した場合祝詞等を送付する。
- ・ 慶弔関係への対応を迅速に行う。

八、事業推進方針

- 一、支会訪問と支援
 - ・ 各支会の総会・会合には積極的に参加し、支部と支会の連携を図る。
- 二、情報・資料の提供
 - ・ 管内及び他支部との情報交換に努める。
 - ・ 本部との情報交換を積極的に進める。

支会だより

小さな組織の

強みを生かして



木古内支会長
(木古内中学校)

磯部 伸一

木古内町は、今年三月二十六日に、待望の北海道新幹線が開通するとともに、北海道新幹線木古内駅も開業しました。また同日、JR江差線を引き継いだ道南いさりび鉄道も誕生し、全国的に注目を集めています。

特に、一月十三日にオープンした道の駅「みそぎの郷きこない」は、駅のすぐ目の前という立地のよさも手伝い、連日、地元や周辺市町のみならず、道内外から多数の観光客が訪れています。人気のレストランやベーカリーの前はいつも行列ができており、閑散としていた駅前が、別の空間に生まれ変わったかのような賑わいに包まれています。この盛り上がりを一過性のものに終わらせることなく、道南はもとより北海道全体が潤うことを目指し、観光の拠点として町をあげて工夫を重ねています。学校は、平成二十二年度末を

もって鶴岡小学校が閉校し、翌年には木古内高校も閉校したため、小・中一校ずつとなつてすでに五年目を迎えています。児童生徒数が、小一から中三まで十〜二十人台の学年規模となっているため、小さな学校の実を生かした教育活動の一層の充実を目指し、町教育研究所主催の研究授業を小中合同で行うなど、教員同士が緊密な連携を図りながら九年間を見通した取組を進めています。

夕陽会員は小学校九名、中学校五名の計十四名と、渡島支部で最も小さい支会の一つになっています。六月十五日(水)には、木古内町教育委員会教育長・野村広章様、本部副幹事長・白川卓様、渡島支部副幹事長・西村和彦様をご来賓としてお招きし、清本館において平成二十八年度の総会・懇親会を盛大に開催いたしました。家族的で和やかな雰囲気のうちには時間が過ぎ、小さな組織ならではの温かい会とすることができました。今後とも、少ない人数ではありますが、その強みを生かしながら同窓の絆を深め、もって木古内町の教育の充実・発展のため力を尽くしてまいります。

支会だより

「渡島の皆様とともに」



五稜支会長
(渡島教育局)

深見 巨

五稜支会(渡島教育局)は、今年度、辻俊行局長のもと、横山佳彦義務教育指導監、小林一雅教育支援課主査、深見巨指導主事、大山裕之指導主事、五名の会員で構成されております。

渡島の子どもの学力・体力については、一部の教科等で全国平均を上回るなど改善の傾向が見られるものの、更なる授業の改善や子どもたちの生活習慣の在り方などが課題となっております。

また、いじめの問題においては子どもたちのささいな変化や兆候であっても、いじめとの関連を常に意識し、徹底した未然防止に努めることが求められております。

今年度、渡島教育局は、辻局長が示した、「学校運営」「学力向上」「いじめへの対応」「服務」の四つの視点について、「そ

える」「見せる」「徹底する」「見つける」「守る」を具現化し、課題解決を図るべく努力しているところです。

渡島の同窓の皆様には、管内の各学校等で優れた教育実践に取り組み、着実に成果を上げられるとともに、各種事業の実施や研修会への参加、学校訪問等の教育局の取組に御協力いただいていることを大変心強く感じ、日々感謝しながら業務を進めてまいります。

私たちは、子どもたちの個性を伸ばし、能力を引き出しながら、社会で自立して生きていく上で必要な学力や体力を身に付けさせるとともに、いじめのない学校づくりなど、学校・家庭・地域・行政が連携して教育環境の一層の充実が図られるよう、これからも渡島の子どもたちへの思いを原動力に、課題解決に努めたいと考えております。

同窓の皆様におかれましては、渡島の全ての子どもたちの未来のために、共に手を携え、一層取組を充実させて参りたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

平成28年度

夕陽会渡島支部各支会役員名簿

支会名	支 会 長		幹 事 長	
	氏 名	所 属	氏 名	所 属
松 前	澁 谷 克 巳	大島小学校	中 野 聡	大島小学校
福 島	飯 田 典 紀	福島小学校	小 田 将 之	福島小学校
知 内	榎 山 聡	知内中学校	笹 原 史 裕	知内中学校
木古内	磯 部 伸 一	木古内中学校	中 田 裕 治	木古内小学校
北 斗	三 上 裕 子	久根別小学校	渋 谷 智 実	久根別小学校
七 飯	村 山 裕	藤城小学校	山 内 淳 禎	藤城小学校
鹿 部	福 井 伸 一	鹿部小学校	田 中 佳 丈	鹿部小学校
森	井 上 嗣 仁	尾白内小学校	岩 井 栄 一	尾白内小学校
八 雲	渡 邊 聡	浜松小学校	西 館 純	浜松小学校
長万部	一 戸 裕 之	長万部小学校	福 永 英 丈	長万部小学校
五 稜	深 見 亘	渡島教育局	大 山 裕 之	渡島教育局

平成28年度

夕陽会渡島支部役員名簿

役 職	氏 名	所 属
顧 問	小 林 基 英	終身会員
	小 市 川 秀 雄	終身会員
	鈴 木 牧 男	終身会員
	高 橋 伸 夫	終身会員
支 部 長	川 野 真 一	大中山中
	木 村 孝 孝	軍川小
副支部長	長 崎 充 宏	東野小
	福 井 伸 一	鹿部小
監 査	村 山 裕	藤城小
	幕 田 真 二	木古内小
幹 事 長	土 橋 史 人	鹿部中
副幹事長	西 村 和 彦	大沼中
会計幹事	小笠原 英 緒	大沼小
庶務幹事	雨 澤 啓 司	大中山中
	坂 井 顕 也	森 小
	佐 藤 健	石別小
広報幹事	中 田 裕 治	木古内小
	渋 谷 智 実	久根別小

▶夕陽会渡島支部事務局◀

〒041-1403
茅部郡鹿部町字宮浜281番地
鹿部町立鹿部中学校内
土橋史人
電話 01372-7-3114
FAX 01372-7-3115

会 務 中 間 報 告

【平成27年度】

3月31日(木) 校長採用・教頭昇任者へ祝詞を発送する

4月4日(月)

11日(月) 各支会現況調査依頼を発送する
総会案内・大懇親会案内を発送する

25日(月)

8日(月) 八雲支会総会・懇親会に出席する
(土橋幹事長)

27日(水)

第3回支部役員会議を開催する
(大中山中学校)

【平成28年度】

5月14日(土) 平成28年度支部総会・大懇親会
(新会員歓迎会)を開催する
(ホテル法華クラブ函館
参加者100名)

20日(金)

支部大懇親会(新会員歓迎会)の
礼状を発送する
知内支会総会・懇親会に出席する
(幕田監査)

26日(木)

成田満也様(終身会員)のご逝去に
弔電と香典を送付する
第2回本部役員会に出席する
(附属函館小学校)

6月8日(水)

北斗支会総会・懇親会に出席する
(木村支部長)

10日(金)

第3回本部役員会に出席する
(函館国際ホテル
木村支部長・土橋幹事長)

15日(水)

木古内支会総会・懇親会に出席する
(西村副幹事長)

16日(木)

大井川誠様(現職会員)のご逝去の
通夜に出席する
(木村支部長・生花と香典)

17日(金)

鹿部支会総会・懇親会に出席する
(木村支部長)

24日(金)

松前支会総会・懇親会に出席する
(福井副支部長)

25日(土)

全国支部長会議に出席する
(木村支部長・土橋幹事長)
本部総会・大懇親会に出席する
(函館国際ホテル)

27日(月)

平成28年度会費納入依頼文書を各
支会に発送する
第1回支会長幹事長会議の案内を
各支会に発送する

28日(火)

第1回支部役員会議案内を発送する
福島支会総会・懇親会に出席する
(木村支部長)

7月5日(火)

七飯支会総会・懇親会に出席する
(土橋幹事長)

8日(金)

第1回支部役員会議を開催する
(大中山中学校)

11日(月)

長万部支会総会・懇親会に出席する
(長崎副支部長)

13日(水)

第1回支会長幹事長会議を開催する
(大中山コモン
本部より藤川会長(臨席)
夕陽渡島NO.129号を発行する
管理職名簿を配布する)